

問 2 店舗販売プロセスの内部統制評価に関する次の記述を読んで、設問 1～3 に答えよ。

A 社は、外食産業界では中堅規模の上場会社（12 月末決算）である。全国に 300 店舗をもち、サービス内容・形態（以下、店種という）は多種に及んでいる。A 社は、平成 21 年 12 月末時点で財務報告に係る内部統制報告制度が適用される。そのため、売上高のうち店舗売上高の勘定科目に関して、内部監査部のシステム監査の一環として、IT 全般統制及び IT 業務処理統制の評価を実施することにした。そこで、内部監査部の F 君は、店舗販売プロセスの概要を把握し、システム監査計画を作成した。

〔店舗販売プロセスの概要〕

A 社の店舗販売プロセスの概要は、図のとおりであり、各店舗に設置されている POS システム、B 社の ASP サービスである店舗管理システム、売上明細データが保存されている DWH システム及び会計システムから構成されている。また、店舗管理システムには、A 社の PC（以下、ASP 端末という）からアクセスできる。

B 社の ASP サービスは、過去に重大なトラブルもなく、信頼性が高いことから、外食産業界で広く利用されている。ただし、B 社の財務報告に係る内部統制の評価に関する知識や経験は必ずしも十分ではない。

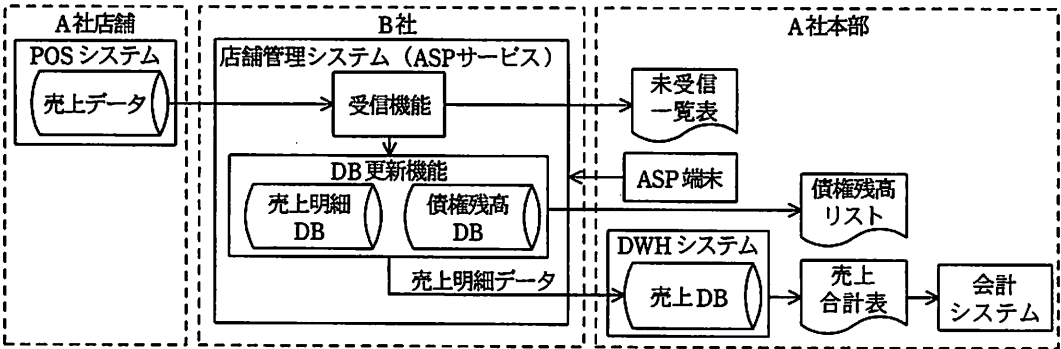


図 店舗販売プロセスの概要

(1) POS システム

A 社では、各店舗に設置されている POS システムに売上が入力される。売上データは、店舗の POS システムで締め処理を行った後、店舗管理システムに送信される。締め処理は、店舗の休日を除き、毎日 2 回行われる。また、POS システムのソフト

ウェア及びネットワークの保守は、すべて B 社に委託している。

## (2) 店舗管理システム (ASP サービス)

店舗管理システムが POS システムから受信した売上データによって、売上明細 DB が更新される。また、クレジットカード会社や顧客への債権に関する売上データによって、債権残高 DB が更新される。

- ① POS システムからの売上データ受信が完了しているかどうかは、店舗管理システムから出力される未受信一覧表を利用して確認している。
- ② 債権残高 DB から出力される債権残高リストは、債権帳簿として利用されている。経理部では、ASP 端末から債権入金データ入力と店舗管理システムのデータ修正入力を行っている。B 社の店舗管理システムには、これらの入力データ承認機能がある。
- ③ 過去 2 か月間の売上に関する明細リストや集計リストは、検索機能を利用して ASP 端末から出力することができる。
- ④ ASP 端末からアクセスできるメニューや機能は、ユーザ ID 及びパスワードで制限・管理されている。ユーザ ID は、B 社から貸与された顧客別管理者 ID を利用して、承認された依頼書に基づいて、A 社内でメンテナンスが行われている。
- ⑤ A 社で異常が発見された場合は、A 社の情報システム部を経由して B 社に連絡する。

## (3) DWH システム

DWH システムは、店舗管理システムの売上明細 DB から日次の自動バッチ処理で売上明細データを取得し、保存している。DWH システムの開発、保守及び運用は、A 社の情報システム部が行っている。

- ① 店舗の売上分析や顧客分析は、DWH システムに保存されている売上明細データに基づいて、分析ツールを利用して行っている。
- ② 営業部は、分析ツールを利用して、週次で店種別に集計される売上合計表をスプレッドシートにダウンロードする。売上合計表を作成する際には、その都度、データの範囲や集計項目などの条件を設定する必要がある。作成された売上合計表は、電子メールで経理部に回付される。

## (4) 会計システム

会計システムは、市販のソフトウェアパッケージであり、経理部がサーバを含め

て管理している。経理部では、売上合計表に基づいて店舗売上高の勘定科目に関する仕訳伝票を起票し、手入力する。

#### 〔システム監査計画の要旨〕

F 君は、システム監査の実施に際して、外部での研修で入手した IT 全般統制のチェックリスト（以下、チェックリストという）を利用できると考えた。

F 君が作成したシステム監査計画の抜粋は、次のとおりである。

##### (1) 店舗管理システム

- ① IT 全般統制の評価は、チェックリストを使って B 社で行ってもらい、その結果を 12 月末決算日時点の評価結果とする。できるだけ早く結果を把握したいので、チェックリストの回収はその年の 6 月とする。
- ② B 社の IT 全般統制を評価すれば、店舗管理システムの信頼性を評価できるので、店舗管理システムに関する IT 業務処理統制については評価しない。

##### (2) DWH システム

- ① 仕訳伝票の基になる売上合計表のコントロールに関しては、ダウンロード後のスプレッドシートのアクセス制限とバックアップについて評価を行う。
- ② 情報システム部の開発、保守及び運用に対しては、IT 全般統制の評価を行う。

#### 〔システム監査計画のレビュー〕

内部監査部長は、F 君が作成したシステム監査計画をレビューして、次のような点について見直すことを指示した。

- ① B 社の IT 全般統制について、チェックリストを回収して評価するだけでは不十分である。
- ② 店舗管理システムについては、次の点を再検討すべきである。
  - ・未受信一覧表を使ったコントロールのように、IT と手作業が一体となったコントロールの場合には、手作業によるコントロールも評価すべきである。
  - ・店舗管理システムの IT 業務処理統制については評価しないとしているが、IT 業務処理統制を含めて実施すべきである。この場合、A 社と B 社がそれぞれに責任を負うコントロールを明確にしておく必要がある。
- ③ DWH システムからスプレッドシートへのダウンロードに関する完全性及び正確

性に関するコントロールを評価すべきである。

設問 1 「システム監査計画のレビュー」の①について、その理由を 40 字以内で述べよ。

また、その解決策を 30 字以内で述べよ。

設問 2 「システム監査計画のレビュー」の②について、(1)、(2)に答えよ。

(1) 未受信一覧表を使ったコントロールを有効に機能させるために必要な、手作業によるコントロールを、40 字以内で述べよ。

(2) 店舗管理システムの DB 更新機能について、債権入金データ入力 of 正当性に関するコントロールを、A 社と B 社それぞれ一つずつ挙げ、30 字以内で述べよ。

設問 3 「システム監査計画のレビュー」の③について、内部監査部長が想定したリスクを、40 字以内で具体的に述べよ。